

アグリメッセージ

発行 伊都振興局農林水産振興部農業水産振興課

橋本市市脇4-5-8 Tel 0736-33-4930

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130300/90/93/index.htm>

県育成柿新品種「紀州てまり」の普及推進による柿産地の振興



収穫期の「紀州てまり」

県かき・もも研究所で「早秋」に「太秋」を掛け合わせて育成した甘柿の新品種「紀州てまり」の苗木の供給が平成30年度から開始されました。

本品種は10月中下旬に収穫可能で「太秋」特有の条紋の発生がみられず、果皮が赤橙色で外観が優れるのが特徴で、当地域でも注目されており、生産登録者数（1月末現在）は県全体で762名（伊都管内577名）となっています。

農業水産振興課では、伊都管内での安定的な生産を目指すため、園地条件の異なる5園地（橋本市2園地、九度山町2園地、かつらぎ町1園地）において平成30年3月に紀州てまりの穂木を「刀根早生」に高接ぎし、現地適応性の調査を行っています。

本年度は、高接ぎ樹の果実を初収穫し、10月28日に試食検討会を開催、16名の生産者が参加されました。試食検討会での評価は概ね好評で、「紀州てまり」を導入済みの方と今後導入したいと考えている方が16名中13名を占めていました。

今秋から栽培園地でも「紀州てまり」の収穫が始まりますが、青いうちに収穫すると渋のこりがみられる場合がありますので完全着色してから収穫してください。

今後も農業水産振興課では、「紀州てまり」の産地化を目指して、情報発信を行い、普及拡大を図っていきます。

新規農業者の育成について

農家の高齢化が進む中で、地域農業を持続発展させるためには、新たな農業の担い手として新規就農者の育成が重要な課題です。

農業水産振興課では、就農希望者や意欲のある新規就農者に対し、就農相談、技術研修会の開催、新規就農関係事業の活用などにより、経営の早期安定化に向けた支援を行っています。

令和元年度は、新規就農者支援のひとつとして、8月に果樹栽培、11月に加工をテーマにした現地研修会を開催しました。

それぞれ、果樹間複合経営農家の海堀安彦氏（九度山町）と株式会社パーシモン（紀の川市）の代表小川教雄氏に、園地・倉庫・加工場の視察や経営理念等の説明をいただき、参加者らは熱心に話を聞き、活発な意見交換が行われました。

また、研修会は、先輩農家や参加者同士での交流ができる良い機会となりました。

今後も伊都地方の農業を担う若手農業者を育成するため、研修会の開催や地域の先輩農家との交流の機会づくりなど、関係機関とも連携して新規就農者の支援に取り組んでいきたいと考えております。

より多くの新規就農者が地域に定着できるよう、地域の先輩農業者の方々のご協力、ご支援をお願いします。



海堀安彦氏柿園での研修会



(株)パーシモン加工場での研修会

●新規就農の状況

伊都振興局管内では、過去5年間で62名が新規就農し、そのうち青年（39歳以下）は42名で全体の68%、中高年齢者（40歳以上65歳未満）は20名でした。

就農形態別では、新規学卒者が3%、他産業からのUターン就農者が40%、新規参入者が37%、農業生産法人等への就農者が19%でした。

基幹作物別では、果樹が55%で全体の過半を占め、続いて露地野菜が32%でした。

【管内市町別及び県全体】

(単位：人)

平成 26～ 30年 度	伊都振興局管内							県全体
	橋本市	かつらぎ町	九度山町	高野町	計	うち青年 (39歳以下)	青年の割合 (%)	
	28	27	6	1	62	42	68	687

新規就農者（65歳未満）数調査結果（和歌山県調べ）から抜粋

クビアカツヤカミキリに注意！！もも・すもも・うめの樹を食い荒らします！

令和元年11月に、本県で初めて特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の被害が、かつらぎ町のもも栽培園地で確認されました。

近隣のもも・すもも・うめの園地を調査したところ、6園地11樹での被害が確認されました。

クビアカツヤカミキリは、幼虫がもも・すもも・うめ等のバラ科樹木の内部に食入して食い荒らす害虫で、繁殖力が非常に強く、大発生すると本県のもも・すもも・うめの生産に大きな被害をもたらすおそれがあります。

現在、被害が確認された園地以外でも既に増殖していて、春以降に成虫が飛び出す可能性があります。

クビアカツヤカミキリを大発生させないためには発生初期段階で被害樹を発見し、伐採・伐根もしくはネットによる成虫飛散防止措置など、成虫の拡散・繁殖を防ぐ対策が重要です。

クビアカツヤカミキリに食入され加害されている樹からは、フラス（木くずと幼虫の糞等が混じったもの）を出す特徴があります。

もも、すもも、うめを栽培されている農家の方は、ご自分の圃場をよく見て回り、フラスを確認した場合は、農業水産振興課までご連絡ください。



うどん状のフラス



株元に溜まったフラス



成虫(体長2.5~4.0cm)

「農業経営の発展を応援します！」わかやま農業経営サポートセンターについて

農業経営の発展を目指す農業者の経営相談に応じるため、県と関係機関により農業経営サポートセンターを設置しています。（地域相談窓口：振興局農業水産振興課）

農業経営サポートセンターでは、農業経営法人化や経営継承、販路の拡大、6次産業化など農業経営の発展を目指す皆様のご相談をお受けし、専門アドバイザー派遣等により、課題解決をサポートしますので、お気軽に農業水産振興課までご相談ください。

○こんな時にご活用ください。

法人化

経営継承
・
経営規模拡大

販路の拡大

6次産業化

- ・新たな加工品開発など6次産業化に取り組みたい。
- ・雇用したいが就業規則や社会保険が分からない。
- ・法人化により規模拡大や信用力強化を目指したい。
- ・子供に経営移譲したいが税制面について相談したい。 など

★★★ 参加者募集 ★★★

令和2年度 農業技術講習会の受講者募集について（ご案内）

【募集内容】

- 定員：各コース25名。
- 受付期間：令和2年2月28日（金）まで。
申込者が定員を超えた場合は、先着受付順。
- 就農意欲があり、基礎技術を習得したい方で、退職されて数年以内、又は新規に就農希望する方。趣味で栽培されている方への講習会ではありません。

□果樹コース

日程	内容
4月下旬	柿の摘蕾、人工授粉、病虫害防除、農作業安全、実習（摘蕾）
5月中旬	環状はく皮、生理落果対策、農薬安全使用、実習（枝剥皮・枝管理）
6月中旬	柿の摘果、主な品種、病虫害、その他果樹、実習（摘果・枝管理）
8月下旬	柿の収穫前管理、果実軟化対策、樹上脱樹、施肥、実習（樹上脱洗）
11月下旬	剪定及び土づくり、休眠期防除、接ぎ木の基礎、剪定講習

- 受講者には、後日、開催日時等を案内します。
- 講習会の日程・内容は予定であり、変更する場合があります。
- 申し込み・お問合せ
伊都振興局農林水産振興部農業水産振興課
TEL 0736-33-4930（直通）、FAX 0736-33-4931

柿料理レシピ

★柿カレー

富有柿を入れて煮込みます。柿の甘さでまろやかなカレーになります。
伊都地方の学校給食でも定番の料理です。柿は皮をむいて冷凍しておけば年中使えます。

材料（5人分）

ミンチ肉・・・300g	富有柿・・・200g
玉ねぎ・・・300g	サラダ油・・・大さじ1
じゃが芋・・・150g	カレールウ・・・5皿分
人参・・・100g	



作り方

- ① なべにサラダ油を熱し、一口大に切った肉、野菜を炒める。
- ② 小さく切った柿と水3カップを加え、沸騰したらあくをとりながら野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ③ ルウを加えてとろみがつくまで煮る。 ※肉はお好みのものを使って下さい。